

# 熱こもった取組に声援

## わんぱく相撲盛り上がる

### 西尾青年会議所が初開催

一般社団法人西尾青年会議所平野謙吾理事長主催の第一回わんぱく相撲西尾場所が二十一日、西尾市東幡豆町の愛知こどもの国で開かれ、子どもたちによる熱のこもった取組が繰り広げられ、応援が飛び交った。

東京の両国国技館で開催される決勝大会まで行われる日本最大規模のこども相撲大会。「青少年の健全な育成」を目的に、一九八一年から全国各地の青年会議所が開催している。

西尾青年会議所では、相撲を通じて礼を学び、努力することの大切を感じたり、思いやりの心を育んでもらったりするとともに、次代を担う子どもたちに青年会議所を知ってもらおうと企画した。西尾市では初開催となる。

町、遠くは田原市からの参加者もあり、学年別・男女別のグループに分かれて、トーナメント方式で競い合った。

西尾場所には、毎年、名古屋場所の際に西尾市一色町内に宿舎を構える尾上部屋の尾上圭志親方

も駆け付けた。平野理事長があいさつし、出場者を代表して木ノ下宗一郎君(八ツ面小六年)が元氣いっぱい選手宣誓。

ルール説明などの後、特設の土俵上で取組が開始され、本場所さながらの攻防が繰り広げられた。

自分よりも小さな相手を一瞬のうちに土俵の外に押し出したり、逆に大きな相手に勇敢に立ち向かって勝利を収めたりするなど、大いに盛り上がりを見せた。

愛知ブロック大会は六月二十五日に蒲郡市内で開催。そこには、四、六年生の男子児童の優勝者が



熱戦を繰り広げる子どもら



愛知ブロック大会進出を決めた3選手。右は平野理事長、左は担当の小林貴則委員長

進出す  
月三十  
四く  
成績は  
略)。

▽四

(西尾市  
③尾崎

▽五

(一色)

翔(福

尊(幸

▽六

(豊田

崎慎太

下宗一